

新任挨拶

名古屋大学 大学院工学研究科
マイクロ・ナノ機械理工学専攻
マイクロナノ機械科学講座
ナノ計測工学研究グループ

東 直輝 助教

平成 28 年卒業(修 62 回)



平成 30 年 4 月 1 日よりマイクロ・ナノ機械理工学専攻、マイクロナノ機械科学講座の福澤研究室の助教に着任いたしました東 直輝と申します。私は、同大学の工学部機械・航空工学科を卒業した後、同専攻の博士課程前期・後期課程を修了し、平成 30 年に博士号を取得いたしました。

博士課程では、「サイズ排除型分離チップを用いた大分子量 DNA の高速分離解析に関する研究」に従事しました。微細加工技術を用いて微小流路内にマイクロスケールのユニークな構造をもつチップデバイスを作製し、DNA 分子を高速かつ高精度に分離解析することに成功しました。現在は、ナノメートルの隙間内に閉じ込められた DNA 1 分子の挙動に着目しています。DNA 分子は高分子であり、そのサイズよりも小さなナノメートルの隙間内では興味深い変形挙動を示します。その挙動をナノスケールの構造をもつチップデバイスと蛍光顕微鏡による直接観察によって解明することを目指しています。将来的には、ナノ隙間内の“潤滑分子”の挙動を解析することで、様々な潤滑メカニズムを解明し、福澤研究室の研究分野であるナノトライボロジーの発展に貢献したいと考えています。

私は、幼少の時から愛知県で過ごしており、名古屋大学に憧れを持っておりました。そんな名古屋大学での研究生活は大変刺激的であり、多くの経験や知見を得ることができました。今後は、その恩返しとして、名古屋大学の教育研究活動の発展に貢献できるよう、日々精進いたします。今後ともご指導・ご鞭撻くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。